

覚書締結に向けた確認 タイと鍾乳洞利活用に向けた確認書を交わす

2月12日、市はタイの国立公園野生動物局との間で、タイのタムルアン洞窟とあぶくま洞が相互に連携する覚書締結に向けて、確認書を交わしました。

確認書は、サッカー少年の救出劇で有名になったタムルアン洞窟とあぶくま洞が管理・運営ノウハウの交換や相互の観光誘客を目的に、覚書締結に向けた協議をしていくことを確認したものです。

本田市長と国立公園野生動物局のカモンチャイ・コッシャー保護区域第15管理事務所長が市役所で署名しました。



国際交流 「国際交流会」で外国人と交流を深めました

2月28日、異文化理解・交流を図ることを目的に「国際交流会」が大越小学校で開催され、同小学校6年生の33人が参加しました。

アジア出身の外国人4人（中国人1人、インドネシア人3人）を招き、それぞれの国の文化や宗教などの話を聞いたり、児童たちが考えたゲームや音楽のプレゼントなどを通して交流を深めました。参加した児童からは「実際に会って話を聞くことで、それぞれの国への印象が変わった」などの感想があり、最後はハイタッチしてお別れしました。



増田明美さん特別講演会 田村で五輪を語る

2月13日、「増田明美さん特別講演会」が市文化センターで開催され、約520人が来場しました。

増田さんは現在マラソン解説者として活躍しています。講演会では「スポーツでつながる世界との絆」をテーマに、20歳の時の途中棄権に終わったロス五輪と、座右の銘である「知好楽（ちこうらく）」を交えて、お話しいただきました。

「自分はオリンピックの場でマラソン競技を楽しむことができなかつた。心から楽しむことができる人が一番強い」と、自身のつらい経験も、笑顔を見せながら話す増田さんの姿に、多くの来場者は心を打たれました。



多目的交流施設「時の輪（ときのわ）」若い感性でリニューアルオープン

常葉町の殿上観光牧場内にある遊休施設・レストハウスいこいの家がリニューアルオープンし、2月26日にお披露目会が開催されました。

市とFSGカレッジリーグとの包括連携協定に基づく新たな取り組みとして、(株)田村市常葉振興公社が管理・運営しているレストハウスを、FSGカレッジリーグ国際情報工科大学の学生の協力を得て、改修しました。

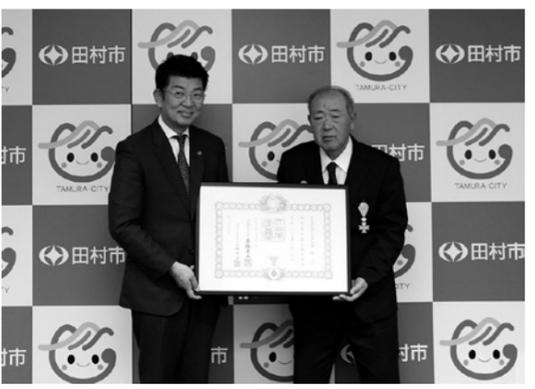
また、約100人の常葉中学校の生徒にアンケートを募り、新名称が「時の輪」に決まりました。今後は、常葉振興公社主催のイベントなどで活用される予定です。



叙勲 佐久間俊一さんが瑞宝双光章を受章

元船引町消防団長の佐久間俊一さん（船引町石森）が、秋の叙勲で瑞宝双光章を受章されました。

佐久間さんは、昭和52年4月に船引町消防団員を拝命し、平成11年4月から平成17年2月までの間、船引町消防団長を歴任されました。平成17年3月から平成21年3月までの間は、初代田村市消防団長として郷土愛護の精神に基づき、地域の火災・風水害をはじめ行方不明者捜索などの指揮にあたり、地域の安全安心のため尽力されました。



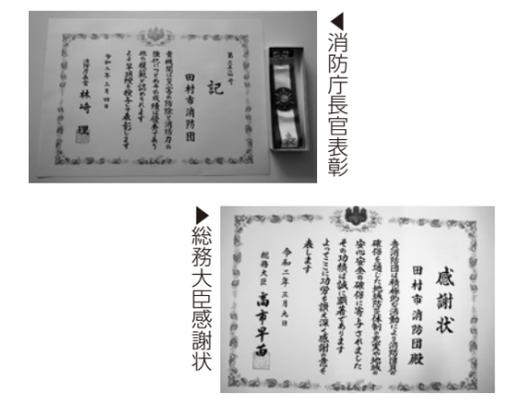
田村市消防団 市消防団に消防庁長官表彰と総務大臣感謝状

田村市消防団に、消防庁長官表彰の一つである竿頭綬と、総務大臣感謝状が贈呈されました。

竿頭綬は、毎年消防庁長官が、これまでの消防団活動の功績・実績を称え贈呈するもので、田村市消防団としては初めての受賞です。

感謝状は、総務大臣が団員の確保に積極的に取り組む消防団に対して贈呈するもので、機能別消防団員の導入などにより団員確保に努めたことが認められ、贈呈されました。

それぞれ、県を通して伝達されました。



スマイルロード 常葉小・中を結ぶ連絡通路が完成

常葉小と常葉中を結ぶ連絡通路が完成し、3月5日、常葉中学校で完成式が行われました。

式では、連絡通路の名称「スマイルロード」を考案した藤田洋子さん（常葉小6年）に記念品が贈呈され、関係者がテープカットを行いました。

連絡通路は、小・中学校間を短時間に移動でき、小中一貫教育を行う上で、重要な役割を果たします。



公民館 お仕事の裏側を見学 チャレンジ教室

2月25日、都路チャレンジ教室が開催され28人の小学生が参加し、いわき市のアクアマリンふくしまと日産工場を見学しました。

アクアマリンふくしまのバックヤードツアーでは、普段見ることのできない水族館の裏側に興味津々でした。

日産工場では実際にエンジンの製造現場を案内してもらったあと、電気自動車の仕組みをミニカーを使って楽しく学ぶなど、参加者たちは有意義な時間を過ごしていました。

